

2026 年 2 月 19 日

路線バスの安全・安心向上を目指し
「路線バス緊急事態対応訓練」を実施しました
～刃物・不審物事案を想定した乗務員・運行管理者の実地訓練～

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：藤井 高明）、湖国バス株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役：立川 敬一）では、2026 年 2 月 16 日（月）、大津営業所において、「路線バス緊急事態対応訓練」を実施しました。

本訓練は、刃物を所持した不審者や、液体などの不審物がバス車内で確認された場合を想定し、「お客さまの安全最優先」で迅速かつ的確な対応が行えるよう、バス乗務員および運行管理者の初動対応力向上と、警察との連携強化を目的として実施したものです。

訓練では、滋賀県警察本部刑事部捜査第一課のご協力のもと、実際の大型路線バス 2 両を使用し、刃物所持の不審者事案と、液体が撒かれた不審物事案の 2 パターンを想定した実地訓練を行いました。運転手による SOS ボタンによる異常通報や、運行管理者による情報収集・通報、警察到着までのお客さまの安全確保・避難誘導など、一連の流れを検証しました。

当社は今後も、関係機関と連携しながら訓練や研修を継続的に実施し、路線バスをご利用されるお客さまに、より一層「安全・安心」な公共交通サービスを提供できるよう取り組んでまいります。

1. 訓練日時

2026 年 2 月 16 日（月）13 時 30 分～15 時 45 分

2. 訓練場所

近江鉄道株式会社 大津営業所（滋賀県大津市瀬田大江町 51-1）

3. 参加機関・人数

- ・近江鉄道株式会社、湖国バス株式会社 18 名
- ・滋賀県警察本部刑事部捜査第一課 7 名

4. 訓練内容

（1）バスジャック事件対応要領等に関する座学講習（映像を用いた講義）



座学講習を受講する参加者

（2）大型路線バス2両を用いた実地訓練

＜訓練想定＞

車内に刃物を持った不審者が乗車し、乗客に危害を与えるおそれがある事案
車内で不審者が液体を撒き散らし、人体に危険が生じるおそれがある事案

- － 運転手によるSOSボタン操作、営業所への通報
- － 運行管理者による通報内容の確認、関係機関への連絡、警察到着までの対応
- － 乗客役による不審者を刺激しない行動、避難協力
- － 警察官による不審者への対応、事案収束後の引き継ぎ確認

《実地訓練の様子》



車内に刃物を持った不審者が乗車



緊急事態発生を知らせる大型路線バス



通報を受けて状況を確認する運行管理者



訓練後に総評を受ける参加者